

様式 1

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 6 月 11 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒 006-0001
	札幌市手稲区西宮の沢1条4丁目14番35号
	氏 名 医療法人 札幌宮の沢病院
	(代表者名) 理事長 田中 誠人

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		83 医療業												
事業の規模	従業員数	261		人	原油換算した		335		kl					
	使用床面積	8,348		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数		8		台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC									
		792	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂							
		非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃									
		t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂							
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)					☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項							
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)					☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項							
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2025	年	4	月	1	日	～	2028	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有 (認証名) ☒ 無												
	その他													

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

環境への意識を職員全員が持つことを心掛ける。

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～

2028 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値		目標削減率		目標数値		基準数値の 設定根拠	削減項目
	数値	単位			数値	単位		
二酸化炭素排出量の削減	871	t	2	%	854	t	2024年度実績	A重油、LPG、電力
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	26.5	t	2	%	26	t	2024年度実績	ガソリン、軽油
紙使用量の削減	1070	kg	2	%	1050	kg	2024年度実績	コピー用紙
水使用量の削減(市水)	19946	m ³	2	%	19500	m ³	2024年度実績	市水
				%				
				%				

注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。

2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。

3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。

4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	不要な部屋の照明等の消灯	事務部	全職員	実施	実施	実施
	エレベーターの使用を極力控える	事務部	全職員	実施	実施	実施
	未使用の電子機器の電源をオフにする	事務部	全職員	実施	実施	実施
	空調設備を効果的に使用する為、外気等を取り入れる	事務部	全職員	実施	実施	実施
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	エコドライブの徹底	事務部	全職員	実施	実施	実施
	空調使用削減	事務部	全職員	実施	実施	実施
紙使用量の削減	資料の両面印刷の徹底	事務部	全職員	実施	実施	実施
	裏紙の使用	事務部	全職員	実施	実施	実施
	電子媒体として保管	事務部	全職員	実施	実施	実施
水使用量の削減	節水の徹底を啓発	事務部	全職員	実施	実施	実施
	蛇口の開閉をしっかりする	事務部	全職員	実施	実施	実施
	節水機能付きの器具へ随時変更	事務部	全職員	実施	実施	実施

4 環境保全に係る実施組織体制

院内の組織

環境保全行動計画をまとめる部署

最高責任者: 病院長

環境管理責任者責任者: 事務次長(院内の環境行動計画の責任者、最高責任者への報告)

環境活動責任者: 事務課長(環境管理責任者の補佐、訓練に関する責任者。省エネに関する責任者。)

環境活動推進員: 事務員(事務係長の補佐)

5 その他(環境保全活動の取り組み等)

院内の設備効率化と、職員の省エネへの意識の2つを軸に活動に取り組む。